

## 1. 教育計画

成人看護学

分野	専門分野Ⅱ 成人看護学	科目名	生命を守る看護 危機的状況にある人の看護
単位・時間	1 単位・15 時間	対象学年	2 年生
方法	14 時間	時期	後期
講師名 (担当授業時間数)	法人講師 飛澤知津子 (14 時間)		
学習目標	危機的状況にある人の特徴を理解し、倫理的問題や看護の方法を学ぶ。		
成績評価方法	筆記試験		
使用テキスト	メディカ出版 成人看護学② 健康危機状況/セルフケアの再獲得 照林社 成人看護実習ガイドⅠ (急性期・周手術期)		
参考文献			
履修上の留意	試験の受験資格：規定時間の講義への出席、提出物の期限を厳守する		
講師からの メッセージ			

## 2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	危機理論について	1. 健康危機状況にある成人の理解 1) 成人にとっての健康とは 2) 成人にとっての危機とは 3) 成人看護学における健康危機状況	講義	
2	2	危機的状況にある成人のセルフケア不足	2. 健康危機状況にある成人に生じるセルフケア不足 1) 五つのセルフケア不足 2) 苦痛の緩和 3) 身体機能悪化の予防と早期発見 4) 生活行動変更への支援 5) 心理的・精神的混乱への支援 6) 家族および重要他者の不安や負担への支援	講義	
3	2	急性期看護について 倫理的ジレンマ	3. 代表的な健康危機状況と看護の特徴 1) 健康危機状況において体験する経過とセルフケア不足 2) 手術等の侵襲的治療を予定して受ける状況 3) 救命救急治療を要とする状況 4) 集中治療を必要とする状況 5) 終末期にある状況	講義	

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
			4. 健康危機状況における看護者の苦痛と 支え合い 1) 健康危機状況における看護者の苦悩 2) 苦悩を抱えていくために		
4	2	苦痛の緩和	1. 苦痛の緩和 1) 健康危機状況における成人の苦痛と 「緩和ケア」の必要性 2) コンフォート理論 3) 苦痛のアセスメント方法 4) 苦痛緩和の方法	講義	
5	2	命をつなぐ対応	2. 身体機能悪化への対応 1) 身体機能悪化の予期（救急カート・挿 管介助） 2) 身体機能悪化への対応方法 3) 予測生の有無別にみた身体機能悪化へ の対応方法	講義	
6	2	生活行動の変更へ の支援	3. 生活行動の変更への支援 1) 生活行動とは 2) 健康状態と「生活行動」の関係 3) 医学的治療で要求される生活行動の制 限と生活行動の変化 4) 生活行動を代行・補充する看護援助 5) 生活行動を代行・補充するものとして のルート類の管理 6) 健康危機状況における生活行動に関す る患者教育のポイント	講義	
7	2	危機的状況にある 人の家族または重 要他者への対応	4. 心理的・精神的混乱への支援 1) 健康危機状況にある人の心理的・精神 的状態 2) 健康危機状況にある人の心理的・精神 的状態のアセスメント 3) 健康危機状況にある人の心理的・精神 的安定を図るための看護方法 5. 家族または重要他者の不安や負担への 対応 1) 家族または重要他者との関係性 2) 家族についてのアセスメント方法	講義	
8	2	評価	筆記試験		